

事務事業評価シート

(H.30)No.	1355	(H.29)No.	1355
-----------	------	-----------	------

事務事業名	ひとり親家庭学習支援ボランティア事業		
担当部局名	担当室名	室長名	
福祉子ども部	子ども家庭室	福地 さおり	

会計区分	事業コード	190520
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 民生費	児童福祉総務費	
項 児童福祉費	(小事業名)	
目 児童福祉総務費	ひとり親家庭学習支援ボランティア事業	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	1	支え合い健康でいきいきと暮らせるまち
	基本施策	3	地域福祉の充実
	施策	3	子ども・子育て支援
重点プロジェクト			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
子どもたちが、精神面や経済面で不安定な状況に置かれることによって引き起こされる学習や進学の意欲低下や、十分な教育が受けられないことによる将来にわたっての不利な影響を与えかねない状況について、改善を図る。
事業内容
ひとり親家庭の児童を対象にした学習支援ボランティア(有償)による学習支援のほか、生活上の支援を実施する。

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

主な事業の実績・計画	H.29年度(事業量・取組実績)		H.30年度(事業量・取組計画)		
	・学習支援ボランティア等による学習支援及び生活支援を業務委託により実施 実施方法:集合型(学習教室方式) 実施期間:平成29年4月～平成30年3月 全115回 利用児童:市内ひとり親家庭の小中学生11名 ボランティア登録者数:20名		・学習支援ボランティア等による学習支援及び生活支援を業務委託により実施		
	H.31年度(事業計画)	H.32年度(事業計画)	H.33年度(事業計画)		
	・学習支援ボランティア等による学習支援及び生活支援を業務委託により実施	・学習支援ボランティア等による学習支援及び生活支援を業務委託により実施	・学習支援ボランティア等による学習支援及び生活支援を業務委託により実施		

	H.29年度(決算見込)		H.30年度(作成時予算額)		H.31年度(計画予算)	H.32年度(計画予算)	H.33年度(計画予算)
	H.28繰越分	H.29現年分	H.29繰越分	H.30現年分			
①直接事業費		2,708千円		3,000千円	3,000千円	3,000千円	3,000千円
内訳(千円)	国・県支出金	2,031		2,250	2,250	2,250	2,250
	地方債						
	その他()						
	一般財源	0	677	0	750	750	750
人工数	職員		0.11人	0.13人	0.13人	0.13人	0.13人
	臨時職員等		0.07人	0.04人	0.04人	0.04人	0.04人
②概算人件費	0千円	940千円	0千円	1,034千円	1,034千円	1,034千円	1,034千円
①+②総事業費	0千円	3,648千円	0千円	4,034千円	4,034千円	4,034千円	4,034千円

4. 担当室による事務事業の点検

考察(H.29年度の取組評価、課題、施策への貢献、市民との協働など)
児童の生活圏内(歩いて行ける)場所での支援が求められており、地域づくり組織と連携し、今後「子どもの居場所」として地域で開放されている市民センターの会議室等での学習支援の場を検討していきたい。現在、小中学生を対象としているが、高校生についても対象としていきたい。また、ボランティアの確保やひとり親家庭の保護者への周知に努める必要がある。継続的に支援を続けることで、ひとり親家庭等への子育て環境の向上を図る。

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合(予定含む)、休止(予定含む)、廃止(予定含む)、事業完了(予定含む)	継続(改善)
---	--------

今後の対応方針(課題解決への取組内容、具体的な見直し内容、継続の理由等)
親から子どもへの貧困の連鎖を断ち切るという国の施策を受けて、継続的な実施が必要な事業である。国の事業メニューの見直し後、基本的な生活習慣の習得支援、学習支援のほかに食事の提供ができるようになっている(→ひとり親家庭等生活向上事業)。支援ボランティアと国や県と調整を行い、円滑に進めていきたい。また、本年度は高校生への学習支援にウェブ学習も取り入れて事業を進める。

6. 事務事業の取組に関する市の計画
ばりっ子すくすく計画